ピッキングシステム操作手順書

## システムの流れ

弥生販売



受注伝票(未納伝票)/売上伝票/仕入伝票



選択した伝票よりピッキングデータを指示



ピッキング指示リスト印刷



ピッキング指示データをBHTに送信



BHTにてピッキング

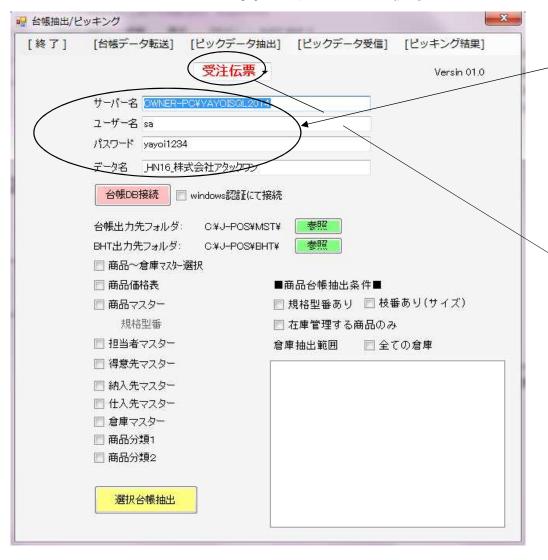
### ピッキング結果

- ・ピッキングリスト印刷
- ・売上伝票作成・受注伝票完納・実在庫の引落 (注意)売上伝票を削除しても、受注伝票は元の状態に 戻りません。



ピッキングデータ受信

## • 処理画面及び操作指示 (最初の画面)



- ■サバー名
- •ユーザー名
- ・パスワード
- データ名

勝手に入力してはいけません。 弥生販売でデータベースに接続する為の情報です。 弥生販売のVersionUPの時は、管理者から指示が されます。

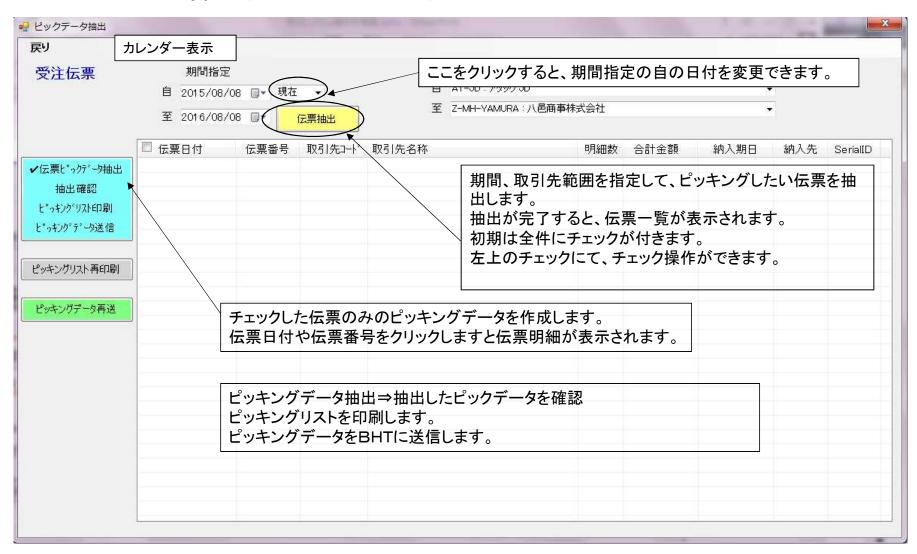
この画面は、J-ONE台帳抽出処理も兼ねています。 台帳データ抽出の場合は、「台帳DB接続」を必ずすること。

ピッキング処理を開始するにあたり、次の準備が必要です。
・ハンディーターミナル(今後BHTと言う)に最新の弥生販売台帳が
インストールされていること。

ピッキングしたい伝票を選択「受注伝票」「売上伝票」「仕入伝票」

伝票を選択後に「ピックデータ抽出」を押下します。

・ 処理画面及び操作指示 (ピッキング指示画面)



### 処理画面及び操作指示 (ピッキング指示画面)

#### ・ピックッキングデータ抽出

✔がついた伝票のみのピッキング指示データを抽出します。

抽出順番は、伝票番号、明細番号の順です。

ピッキングデータ抽出⇒抽出確認画面表示⇒ピッキングリスト印刷が自動的に一連で処理がされます。

#### ・ピッキングリスト再印刷

ピッキング抽出指示したデータに基づいて、ピッキングリストを印字します。

一連の処理で印刷をミスした場合に再印刷ができます。

#### <u>・ピッキングデータ伝送</u>

抽出したピッキングデータをハンディーターミナル(BHT)に送信します。

BHTに伝送するデータが表示されますので、確認して伝送処理をしてください。

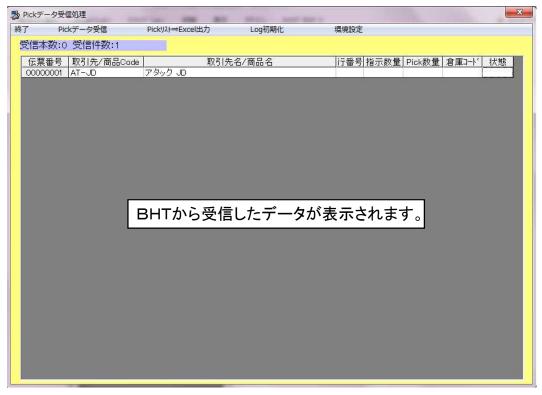
新たなピッキングデータ抽出がされるまで、ピッキングリスト印刷とピッキングデータ伝送を、何回も実施することができます。

新たなピッキングデータ抽出を行うと、ピッキングリストは最新データのみの印字となります。 ピッキングデータは累積されますので、BHTに送るデータは前回分と今回分となり累計データが送られます。

### カレンダー指示方法



## ・ 処理画面及び操作指示 (ピッキング受信)



#### •PICKデータ受信

BHTでピッキング作業後に、PICKしたデータを受け取ります。 BHTから送信されたデータを表示します。

「PICKデータ受信」を繰り返すことで、複数台のBHTデータを 受け取ることができます。

(受け取りデータが累積されます)

但し、該当BHTは一度受信をしますと、重複受信を避けるために、2回目以降の受け取りが出来ません。

特別に重複して受け取りをしたい場合は、「ログ初期化」をしてください。

重複データは前回データに累積されますので注意が必要です。

# ・ 処理画面及び操作指示 (ピッキング結果)

